

ロータリー

ユニークなクラブ

これはあるアイデアの物語 — その誕生と発展の物語です。

少しの歴史と、現在の多くの姿、そして未来への展望も含まれています。

その背景にあるものや、将来の成長の可能性を理解すれば、すべてが興味深いものとなるでしょう。

これはロータリークラブの物語です。

シカゴの実業家たちによるこのユニークな組織は、行動を起こすからこそ、わずか3年で一躍脚光を浴びる存在となりました。

ロータリー

ここにあるのは、あなたがこれまでに加入した、あるいは耳にしたことのあるどのクラブとも異なるクラブです。あまりにもユニークで、あまりにも異例なため、外部の人々は入会を望み、内部の人々は、一度その門をくぐれば、そこに留まりたがらずにはいられません。

他のクラブでは、会員がクラブを「ビジネスを獲得する手段」として利用しようとする試みを嫌悪しますが、その点に関して彼らが定めた規則は、遵守されることよりも破られることの方が多いたが実情です。

他のクラブでは水面下で行われていることが、ここでは公然と行われています。それはクラブの活動に不可欠な要素であり、クラブが存在する理由の一つなのです。

ロータリークラブは、率直かつ明快にこう述べています——会員同士の関係を深め、彼らを通じてビジネスを獲得しなさい。そうすれば、彼らもまたあなたに対して同じことをしてくれるでしょう。

さらに一歩踏み込んで、こうも述べています——会員の利益のために、友人や知人のビジネスにできる限り影響を与えなさい。

ロータリーには、相互扶助の精神が強く根付いています。

当クラブの会員資格は、各業種につき1名の代表者に限定されており、定款では、これらの人物はシカゴ市内で正当な事業に従事する事業主、パートナー、または企業の役員でなければならないと規定されています。

各業種につき1名の代表者にのみ会員資格を限定している理由は、状況や理屈の範囲内で、各会員が仲間の会員からの影響力という恩恵を享受できるようにするためです。

会員は、他の会員に仕事を依頼したり、他の会員のために影響力を行使したりする義務を負うものではありません。可能な限りそうすることが期待されていますが、事業の性質上それができない場合でも、他の面でクラブに多大な貢献をすることがよくあります。

当初、新しく選出された会員は、クラブの目的や活動の範囲を十分に理解していない場合、仲間の会員から仕事を紹介するよう招待され、さらには強く勧められることに驚かれることでしょう。

また、統計局が、受注・発注した仕事、「ヒント」の提供、および情報の提供に関する記録を保管していることも知ることになります。

しかし、会員はロータリーにおいて、それ以上のものを見出します。

会員は、自分の住む都市の市民福祉に関わる活動に積極的に参加する機会を見出します。それは、ロータリークラブがその存在感を示している活動です。

また、会員はクラブの社交面からも多くの楽しみを得ます。その活動の性質そのものが、他の多くのクラブでは通常見られないほど、会員同士の親密な交流をもたらしているのです。

これらの特徴、そしてそれ以上のものが、ロータリークラブをユニークなものにしています。

活動に積極的に参加するすべての会員にとって、ロータリークラブはかけがえのない存在です。

今日、1908年5月現在、様々な商工業に従事する約200名の会員によって構成されるロータリークラブは、私たちの偉大なるシカゴのビジネス界において、強力な存在となっています。

組織

4人の若い実業家、Paul P. Harris, Harry L. Ruggles, Gustavus H. Loehr および H. E. Shorey が、1905年2月にこのクラブを設立しました。

彼らは現在も現役会員として活動しています。Harris氏は現在、会長を務めています。

彼らには共通した強い信念がありました。それは、個々の会員の事業上の利益の促進を目的とするクラブには、素晴らしい未来が待っているというものでした。

その後、後述するように、クラブの活動の範囲は大幅に拡大されました。

「ロータリー」という名称が選ばれたのには、2つの理由があります。

第一に、クラブに決まった会場場所を設けず、会員の事務所を順番に回って会合を行うことにしたからです。

第二に、会員は終身制ではなく、1年間のみの任期とすることにしたためです。これにより、必然的に生じる変化によって、会員の入れ替わりが生じることになります。

クラブの名称を、より明確な意味を持つものに変更すべきだという提案が度々なされてきましたが、当初から「ロータリー」という名称で始まり、現在の状況から判断するに、今後も「ロータリー」のままであると思われます。

市民活動 CIVIC WORK

1907年、同クラブの定款は改定され、シカゴ市の福祉を促進し、市民の心に愛国心を育むという、3つ目の理念が盛り込まれました。

クラブを政治的な存在にする意図はありませんでしたが、公益に関する問題については、クラブの見解が聞かれるべきであると考えられていました。

クラブが推進した最初の大きな公共事業は、シカゴ市における公衆トイレの設置でした。この問題は、シカゴ商工会議所、ハミルトン・クラブ、シティ・クラブによっても取り上げられていましたが、具体的な行動は取られておらず、計画も策定されていませんでした。

1907年10月、ロータリークラブの招きにより、前述の3団体の代表者、当時のシカゴ市

行政の要職者、その他多くの関係者が、グレート・ノーザン・ホテルの宴会場に集まりました。

これらすべての団体からの代表者およびその他 50 名で構成される恒久的な組織が結成され、その共同の影響により、すでにクック郡委員会から 2 万ドルの予算が計上されました。

合同委員会のメンバーは、自分たちの努力が、この目的のために少なくとも 20 万ドル以上のさらなる支出につながることを確信しています。

シカゴとその市民にとって極めて重要な多くの課題が、ロータリークラブの影響を受けてきました。そして、将来のシカゴの市民福祉に関わる多くの重大な課題にも、ロータリーの是正的影響が刻まれることをお約束いたします。

政治的な影響から完全に独立したクラブが必要とされています。

そのような組織は、重要な施策において主導権を握ることが多いだけでなく、世論を形成することで、市議会、郡委員会、その他の立法機関に多大な助力となります。

ロータリーのような公共精神にあふれたクラブが、公共の利益に関わる重大な問題に対して与える道徳的・教育的支援は、疑う余地がありません。

【訳者注】

CIVIC WORK「市民活動」とは、市民が地域社会に参加し、公衆の福祉に貢献する活動を指します。これには以下のようなものが含まれます。すなわち、
ボランティア活動：地域社会の改善に役立つ奉仕活動に参加すること。
選挙への参加：地方選挙で投票し、行政や政策に影響を与えること。
公民教育：市民の権利と責任について学ぶプログラムに参加すること。
公共奉仕：公園の維持管理や地元企業の支援など、公共インフラやサービスへの貢献。
総じて、市民活動は、より良い社会を築く上で、地域社会への関与と責任の重要性を強調するものです。

市民奉仕 CIVIC SERVICE

市民奉仕（CIVIC SERVICE）は地域の公共サービスや市民生活に関連する問題を扱う部門に対する奉仕活動のこと。）

運営

ロータリーには入会金も会費もありません。

例会は隔月で、市内の著名なホテルやレストランで開催されます。

4 回に 1 回の例会は公共の問題に充てられ、年に 3 回「レディース・イブニング」が開催されます。運営費は、軽微な「罰金」を課すことで得た資金から賄われています。

各例会の時間の限られた部分は、娯楽に充てられています。

こうした「楽しいひととき」は、会員間の友好関係を築く上で素晴らしい成果を上げています。

7月と8月は会合は開催されませんが、理事会の目標として、この2ヶ月間に近隣の保養地へクラブ旅行を企画することです。会則と細則は、会員の忠誠心を高めるよう策定されています。

会員資格の期間は1年に限定されており、クラブの将来に対して十分な関心を示さず、分擔すべき役割を果たさない会員が、容易に退会できるよう配慮されています。

1年の任期満了時に、会員がクラブにとって有益であると証明された場合、その実績が再選を保証するものと考えられました。もし無益であると証明された場合でも、厳格な除名手続きを経ることなく、会員資格を解除することができました。

同様の理由から、定款には、説明なしに4回連続で会議に出席しなかった会員は、会員資格を喪失すると規定されています。

当クラブの精神のすべては、進歩、利益、そして協力にあり、そうである以上、クラブは、この種のクラブに存在する大きな可能性を把握し、その見解や行動によってその価値を認識している、活気ある活動家たちによって構成されなければなりません。

未来

ロータリークラブの会員は、クラブが極めて短期間のうちに壮大な規模へと成長・発展することは確実であると信じています。

シカゴの他の組織は、ロータリークラブの主要な目的のそれぞれに基づいて設立され、繁栄しています。しかし、ロータリーの3つの指針を調和的かつ論理的に組み合わせることで、ロータリーはあらゆるクラブ組織の中で最も完璧なものになると信じられています。シカゴの多くのクラブは、表向きは会員間の友好関係の促進を目的として結成されていますが、その根底にあり、かつ支配的な目的は、ロータリーが誠実かつ公正、そして公然とその活動の一環としているもの、すなわち会員の事業上の利益の促進であり、これまでも常にそうであったのです。

この基盤から始める方がよいと考えられています。

創設者たちは、本クラブの設立原則が極めて健全で、理にかなっており、論理的であるため、その活動は最終的に全国的な性格を帯び、他の都市の重大な市民問題に対しても影響を及ぼすようになると確信していました。

このような発展からは、社会的、個人的、そして市民的な多くの利点が間違いなく生じるでしょう。そして、それが実現することは確信を持って期待されています。

当クラブには、まだ代表者がいない業種の方々のための席も用意されており、このような組織への参加と活動に意欲をお持ちの方々からの問い合わせを歓迎いたします。

ご連絡は、書記の B. E. アーントゼン氏（住所：ノース・クラーク・ストリート 247 番地）宛にお願いいたします。

ロータリークラブ

現在、それぞれ異なる業種に属する 200 名の代表者で構成されています。

ある業種がクラブに代表されている場合、その業種の会員の同意なしに、同じ業種の他の代表者が加入することはできません。

入会申請は、事業主、パートナー、または企業の役員からのみ受け付けます。会員は、互いにビジネスを勧誘し、仲間の会員に仕事を紹介するためにできる限りのことを行うことが期待されています。

ただし、これについては強制力はありません。

入会金や会費は一切ありません。

クラブの経費はわずかなもので、少額の「罰金」を徴収することで賄われています。比較的短期間のうちに、シカゴ市の主要な産業や商売の代表者がすべて会員となる見込みです。

しかし、その段階に達するはるか以前から、当クラブの会員資格は極めて貴重な資産となるでしょう。会合は隔月で開催され、会員 1 人あたりの参加費は夕食代として 1.50 ドル、レディースナイトの場合は 2.00 ドルとなります。

欠席 1 回につき 50 セントの罰金が科されます。

しかし、その段階に達するはるか以前から、当クラブの会員資格は極めて貴重な資産となるでしょう。会合は月 2 回開催されます。会費は夕食代として 1.50 ドル、レディースナイトは 2.00 ドルです。欠席するたびに 50 セントの罰金が科されます。

謝辞

本パンフレットは、THE PATTERSON GIBBS 社によって編集され、フォトグラヴェールは CHICAGO PHOTOGRAVURE 社によって制作されました。

用紙は JAMES WHITE PAPER 社が提供し、表紙の型抜き加工は M. M. BEAR 社が担当しました。

版画は JAHN & OLLIER ENGRAVING 社が提供し、組版および印刷は H. L. RUGGLES 社がすべて行いました。

これらはすべて、1908 年 5 月、ロータリークラブのより大きな利益と栄光のために、無償かつ非営利で行われました。